

令和8年度第1回飯島町地域公共交通協議会 会 議 録

1. 開催日時・場所

令和8年6月25日（木） 15：00～16：05

飯島町役場2階防災集会室

2. 出席者

番号	協議会 役職	委 員	役 職	氏 名	出欠
1	会長	飯島町	町長	唐澤 隆	出
2	委員	飯島町	副町長	宮下 寛	出
3	委員	飯島町議会	議長	宮脇 寛行	出
4	委員	飯島町議会	議員	伊藤 秀明	出
5	委員	飯島町議会	議員	坂本 紀子	欠
6	副会長	飯島町商工会	副会長	片桐 明	出
7	委員	セブン自動車有限会社	代表取締役	熊谷 良一	出
8	監事	飯島町社会福祉協議会	会長	箕浦 税夫	出
9	監事	飯島町民生児童委員協議会	協議会代表者	中村 やよい	出
10	委員	飯島町観光協会	会長	久保島 巖	出
11	委員	飯島町交通安全対策委員会	会長	北澤 敏秀	出
12	委員	飯島中学校PTA	会長	平林 克基	欠
13	委員	いいちゃんまちづくり連絡協議会 【代理】	会長 副会長	坂本 紀子 佐々木 周二	欠 出
14	委員	上伊那まなびのネットワーク飯島支会	支会代表者	矢澤 美和子	出
15	委員	株式会社葵交通	代表取締役	守屋 俊宏	出
16	委員	伊那バス株式会社	代表取締役社長	藤澤 洋二	欠
17	委員	東海旅客鉄道株式会社 【代理】	伊那市駅長 助役	柴田 圭 大井 竜一	欠 出
18	委員	飯島町区会	区長代表者	堀内 善之	出
19	委員	国土交通省北陸信越運輸局	交通企画課長	大村 進太郎	Web 参加
20	委員	国土交通省北陸信越運輸局長野運輸支局	首席運輸企画専門官	渡邊 徳之	Web 参加
21	委員	長野県駒ヶ根警察署 【代理】	署長 交通課長	浅岡 真 小林 辰徳	欠 出

22	委員	長野県伊那建設事務所	企画幹兼 維持管理課長	丸山 真	欠
23	委員	長野県企画振興部交通政策局 【代理】交通政策課	交通政策課長 交通企画係	酒井 裕司 檜原 輝	欠 Web 参加
24	委員	長野県上伊那地域振興局	企画振興課長	上条 洋	Web 参加
25	関係職員	飯島町 総務課	総務課長	堀越 康寛	出
26	関係職員	飯島町 建設水道課	建設水道課長	片桐 雅之	出
27	関係職員	飯島町 健康福祉課	健康福祉課長	小林 正司	出
28	関係職員	飯島町 教育委員会事務局	教育次長	藤木 真由美	出
29	事務局	飯島町 企画政策課	企画政策課長	座光寺 満輝	出
30	事務局	飯島町 企画政策課 企画係	企画係長	西村 務	出
31	事務局	飯島町 企画政策課 企画係	主査	大澤 志織	出
32	事務局	飯島町 企画政策課 企画係	主任	堀内 康佑	出

3. 次 第

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 会長あいさつ
4. 業者あいさつ
5. 協議事項

(1) 議案第1号 令和7年度飯島町地域公共交通協議会決算について 【資料1・資料2】

(2) 議案第2号 令和8年度地域公共交通計画策定に資する基礎資料作成業務について
【資料3・資料4】

6. 報告事項

- (1) 令和7年度循環バス運行等の実績について 【資料5】
- (2) 令和8年度飯島町地域公共交通協議会予算について 【資料6～資料6－2】

7. その他

8. 閉会

4. 配布資料

- ・次第
- ・令和8年度飯島町地域公共交通協議会委員名簿
- ・【資料1】 議案第1号令和7年度飯島町地域公共交通協議会決算書
- ・【資料2】 会計監査報告書
- ・【資料3】 議案第2号令和8年度飯島町地域公共交通計画策定に資する基礎資料作成業務詳細説明資料
- ・【資料4】 実施計画及びスケジュール
- ・【資料5】 令和7年度循環バス運行等の実績について
- ・【資料6】 令和8年度飯島町地域公共交通協議会予算書

- ・【資料6－1】令和8年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域公共交通調査事業（地域公共交通計画策定事業））交付申請書
- ・【資料6－2】令和8年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域公共交通調査事業（地域公共交通計画策定事業））交付決定通知書

5. 議事

1. 開会 片桐副会長 (進行：片桐副会長)
2. 委嘱状交付 唐澤町長
今年度から変更の協議会委員（4名）に委嘱状交付
新協議会委員より挨拶
3. 会長あいさつ 唐澤会長
4. 業者あいさつ 技建開発株式会社
5. 協議事項 (進行：唐澤議長)
 - (1) 議案第1号 令和7年度飯島町地域公共交通協議会決算について
資料1・2に基づき、西村係長より説明
資料2に基づき、箕浦監事より監査報告
唐澤議長 ご意見等はあるか。
委員 意見等なし。
唐澤議長 出席議員の過半数で可決となる。賛成の方の挙手をお願いします。
委員 (挙 手)
唐澤議長 13名以上の賛成であり、提案の通り承認とする。
 - (2) 議案第2号 令和8年度地域公共交通計画策定に資する基礎資料作成業務について
資料3・4に基づき、西村係長より説明
唐澤議長 ご意見等はあるか。
久保島委員 高校生アンケートについて非常に良いことだと思うが、高校生はいいちゃんバスに乗れないため、一般のアンケートと同じ内容では望むような回答が得られない。アンケート内容を工夫していただきたい。
西村係長 今回はアンケート項目の提示となっており、具体的な回答の方法やアンケート内容についてはいただいた意見を踏まえ構築することとする。
大村委員 計画策定を1年とする自治体が多い中、飯島町では2か年と十分な期間をとっている。また、モビリティ アップデート ガイダンスを活用されとのこと、我々が力を入れて情報をまとめているサイトであり計画策定に活かしていただきたい。
1点目、計画策定に向け現状把握をした後に目指す姿の決定、目標に向けた施策の決定、最後に KPI 目標値の設定、計画策定の評価となり、今年は現状の把握をする。可能であれば、今後の動きを把握するため令和9年度の動きを示すように。
2点目、はじめに調査をし、その結果を踏まえて次の調査をして施策につなげるわけだが、計画ができてはじめて世間が知ることはないよう、策定プロセスについて住民ワークショップをするなど十分に世間に情報を提供していただきたい。そうすることで、住民を巻き込んだデータに基づく立

	案となる。今年度は計画の改定年にあたる自治体が多く色々な事例があるので参考にするように。
唐澤議長	令和9年度の方向性をしめし、プロセスを明確にするようにとのことだがいかがか。
西村係長	今後のスケジュールについては、令和8年2月に行われた令和7年度第1回協議会の際にお配りしているので参考にさせていただきたい。令和9年を含む全体のスケジュールについては、本年度アンケート調査及び分析を行い、令和9年度に方針や目標の設定、区域を踏まえた路線の設定、事業実施主体との検討、全国の優良事例を踏まえた内容の検討及び研究をすることで、令和10年2月頃に計画を完成させ公表および運用へ結びつける形としたい。プロセスを明確にしていく件について、来年度の計画策定に向け反映できるように今年度に検討していきたい。
唐澤議長	大村委員より、住民ワークショップの開催をとあり、検討をお願いしたい。
大村委員	令和7年度第1回協議会の資料である全体スケジュールについては把握しており、調査やワークショップの時期を落とし込んだ、より詳細で具体的なスケジュールをいただきたい。
西村係長	了解した。
唐澤議長	他にご意見等はあるか。
委員	意見等なし。
唐澤議長	議案に賛成の方の挙手をお願いする。
委員	(挙 手)
唐澤議長	挙手全員であり、提案の通り承認とする。

6. 報告事項

(進行：唐澤議長)

(1) 令和7年度循環バス運行等の実績について

	資料5に基づき、堀内主任より説明
唐澤議長	ご意見等はあるか。
	公共交通の利用が大きく下がってきているが、飯島町内には出かける目的となる場所があまりないことも原因と考えられる。昨年4月3日にAコープが閉店したことも大きな影響を与えた。会の最後に再度意見を伺うので、意見等あればその時にだしていただきたい。

(2) 議案第2号 令和8年度地域公共交通計画策定に資する基礎資料作成業務について

	資料6～資料6-2に基づき、堀内主任より説明
唐澤議長	ご意見等はあるか。
委員	意見なし。

7. その他

(進行：唐澤議長)

堀内主任	次回の協議会について、令和9年の2月頃を予定している。また、今年度実施のアンケートについて、アンケートの調査票原案ができ次第、委員へ送付し書面にてご意見等いただく予定でいる。時期としては7月を予定している。ご協力をお願いしたい。
------	--

唐澤議長
上条委員

ご意見等はあるか。

広域的な公共交通の事になるが、飯田から長野までを運行するみずずハイウェイバスについて、利便性の向上を図る等の目的でこれまで4便だったものを昨年度から7便に拡充した。また、今年度から特急便を設けるなど利用促進に取り組んでいる。年間で8万人の利用者を見込んでいるが、まだ6, 7割にとどまっている。来月あたりから割引も予定しており、身近なところで広報にご協力いただき活用をお願いしたい。

2点目として、調査の中でバス路線デマンド交通について議論すると思うが、人口減少が進む将来、JR路線についても便数が減るなどといった利便性が低下することが考えられる。JRについても利用促進を検討いただきたい。

3点目として、計画に合わせ住民の議論を活発にしていっていただきたい。普段、車を使っていると公共交通に意識が向きにくく、自分が公共交通を使うという視点で議論がされにくい。しかし、今使うことがなくても、年を取ると公共交通を使うことになり、限られた予算を将来使うものに活用していただきたい。地元に帰った際や家庭において話をし、自分事としてアンケートなどで回答し、またワークショップなどに積極的に参加を促して将来に向かって議論しやすいような形としていただきたい。

座光寺課長

意見いただいたように、住民の議論を活発化したい。また、ワークショップ開催の意見を受け、前向きに検討したい。今、困っていない方も将来的に困ることが考えられ、そういった視点でアンケートに答えられるよう工夫したい。

唐澤議長
大村委員

他にご意見等はあるか。

いいちゃんバスの利用低下について、別の交通網を検討する事となり、デマンド交通が重要な選択肢として挙がると考えられる。当局では、デマンド交通について、こういう条件でこういう形で導入すると良いといった取扱説明書を、今年度末までに作成予定でありご活用いただきたい。また、作成にあたり、各自治体にアンケートを予定しておりご協力いただきたい。

唐澤議長
委員
唐澤議長

他にご意見等はあるか。

意見なし。

今ある町の公共交通だけでなく、ハイウェイバスやJRの活用を促進していくわけだが、目的を作ることも大事である。イベントの開催や町の責任でもある店舗を増やす努力も同時にすべきである。JRでいうと、先日宮田村で行われたワイン祭りや秘境列車の旅など、電車が満員であった。6月28日には平岡の駅まで行くブッポウソウ観察会が開かれる。このような出かける目的を作ると、公共交通の利用者も増えると考えられるので、そのような働きかけもしたい。

8. 閉会

片桐副会長

6. 会議状況



開会あいさつ（片桐副会長）



委嘱状交付



会長挨拶（唐澤会長）



業者挨拶



事務局から説明①



委員会の様子①



事務局から説明②



委員会の様子②



委員会の様子③



閉会（片桐副会長）